

## 松井克浩のエックス 2024年1月(抜粋)

今月の「つぶやき」を抜粋で集めました。

【12月27日】

東京大学と伊藤園が「とろみ」のついた緑茶を開発。適度なとろみで誤嚥を防ぎ、安全に水分補給できます。

従来、看護や介護の現場ではとろみ添加剤を使用。とろみ剤の計算やとろみの定着にはある程度の時間がかかります。味が落ちることも課題でした。

うまみととろみの両立が完成。

【12月28日】

[NPO 法人会計基準が簡単にわかるための4つのこと](#) | 大阪の企業会計の主治医

NPO 法人会計基準は、会計報告作成者の視点より、会計報告利用者の視点を重視して規定されています。



【12月29日】

[今月のエックス 2023年12月\(抜粋\)](#)

【12月30日】

「『今は待とう。そうすればもっとよくなる』なんてことはありません。」

【12月31日】

おはようございます。

2023年最後の日、いかがお過ごしですか。

モヤモヤいっぱいの中ですが、流されずに行きたいものです。

【1月1日】

新年あけましておめでとうございます。

昨年中はお世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年 元旦

【1月2日】

昨夕の北陸地方での大地震。正月早々、大惨事が起こりました。

被害に遭われた方々がお気の毒でなりません。

【1月3日】

2024年(令和6年)の正月は悪い出来事が重なります。  
お墓参りに行きました。世界中が穏やかに。安らかに。

【1月4日】

人手不足で倒産。コロナ後の経済再開が進むなか、労働力を確保できずに経営に行き詰まる企業が増えています。つまりは賃上げができないということです。建設業と運輸業が突出。物価高が引き続き重荷になる上、ゼロゼロ融資の元金返済が本格化。企業を取り巻く環境はさらに厳しく。

【1月5日】

[会社再建時に悩ましい「評価損益の計上」と「欠損金の期限切れ」問題](#) | 大阪の企業会計の主治医

期限切れ欠損金を含めた欠損金を損金算入できる制度が準備されています。



【1月6日】

『子どもの世話にならない』は『子どもの世話をしない』の裏返し」

【1月7日】

「本当に生きるということは、いつも自分は未熟なんだという前提のもとに、くよくよせず生きることだ。」

【1月9日】

[公益法人定期提出書類「別表H」なんて全然怖くない!](#) | 大阪の企業会計の主治医

リンク先の図解を手元に置いて今回の解説をお読みになれば、完璧です。別表Hを克服できます。



【1月10日】

[大阪で生まれた「学校プール」](#)

【1月11日】

オープンファクトリーは企業側が積極的に工場見学などを開く取り組み。複数企業が一斉に開く地域一体型が関西で増えています。  
この取り組みは地域を支える若手経営者の気概と職人技を披露する場に。地域企業が活気づけば交流、定住人口の増加につながります。

【1月12日】

[認定NPO法人の認定基準は全部で9つ](#) | 大阪の企業会計の主治医  
PST(パブリック・サポート・テスト)に関する基準、活動の対象に関する  
基準、運営組織経理に関する基準、事業活動に関する基準等が認定  
基準に定められています。



【1月13日】

「聞こうという意識を強く持っている、めぐりめぐって、話し方を変えることもできる。」

【1月14日】

「幸せになりたければ、『幸せだ』と思えばいい。」

【1月16日】

2024年4月から国家資格になる日本語教師。全国で4万4千人いますが、その半数以上は  
50代以上が占めています。学生への指導力さえあれば年齢を問わず活躍できることが魅力  
です。世界観が広がることも。

国家資格の取得には試験ルートと養成機関ルートの2つがあります。

【1月17日】

[同族会社・役員間における賃借取引・売買取引のポイント](#) | 大阪の企業会計の主治医  
同族会社では、会社・役員間の取引に関して、税務上問題となる事項が  
発生する可能性が高くなります。



【1月18日】

[魚介の高騰](#)

【1月19日】

貼りつけた画像を開いて「+」をクリック。展開して解説をお読みください。

[【その用途を住宅として契約した賃借料の仕入税額控除】](#)

「事務所として使用した場合、当該建物の賃借料は賃借人  
の課税仕入に該当するか？」



【1月20日】

「つまらない意地は、ミスをこじらせる」

【1月21日】

「神様の味方を得るために、何が一番有効かという、喜ばれる存在になること」

【1月22日】

FAQ【消費税】

『[共有財産と譲渡所得](#)』

先週の公益法人立入検査。「取引が少ないから総勘定元帳と作成しなくてもよい。」とはなりません。

収支表をもとに正味財産増減計算書が作られますが、常に集計を誤るリスクが存在します。

【1月23日】

サンマの水揚げ増。2023年シーズンの水揚げ量は2.4万トンで前年を36%上回りました。5年ぶりに対前年プラスになります。ちなみに過去最低は2022年で1.8万トン。

日本近海で漁場が見つかり、小型船での出漁が増えたことが要因です。でもこの状態が続くかどうかはわからないとか。

【1月24日】

キャンピングカー市場の急拡大。購入者の約6割が50代以上といわれます。リタイア後のゆとり旅は魅力的。とはいえ道の駅やパーキングエリアなどを使う際にはマナー厳守です。長期滞在はしない、キャンプ行為はしない、許可なく公共の電源は使わない、などなど。

【1月25日】

[公益法人制度改革！より柔軟・迅速な公益的活動のために～財務規律面から](#) | 大阪の企業会計の主治医

収支相償の計算において「過去の赤字の補てん」という考え方がようやく認められます。



【1月27日】

「失敗を失敗としてすぐに捨てずに活かす道を考える。失敗は資産である、と考える。」